

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇昨年度に引き続き、札幌市共通指標の「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある。」と回答した生徒の割合が全体の93.6%と高い傾向にある。</p> <p>◇「分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている」生徒が全体の9割を超えており、肯定的な回答が多い結果となった。</p>
	<p>◇札幌市の共通指標から「自分の意見を進んで発言しようとしている。」という意味理解を伴った知識の領域では昨年より6.9%増加したものの、依然として58.6%と低い。</p> <p>◇「読書は好きである」と回答した生徒の割合が、昨年よりも減少した。読書を通して、得られた知識が学習や生活の場面で活かされることを意識させるとともに読書の習慣化を目指していきたい。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇札幌市共通指標の相互承認に関連する項目において、ほとんどの項目で90%を大きく上回っていたが、「自分が必要とされていると感じる」という項目が75.6%にとどまり他の項目と比べて低かった。授業を基盤とした教育活動全体で自分の役割を認識し、自己肯定感を高められるような協働的な活動を通して、互いに認め合い、自分の存在感が感じられるような活動に意欲的に取り組んでいく必要がある。</p>
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
主体的に考え、表現し、学びを広げる力	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>(1) 課題設定と見通しを持たせる活動の充実 →生徒が自分の問いや考えをもって学習に入ることを重視する。</p> <p>(2) 考えを表現し、他者の考えと比較する取組 →生徒どうしの対話を通して、自分の考えを表現し、修正する機会を取り入れる。</p> <p>(3) 学びを生活や次の学習に繋げる取組 →振り返りの視点を明確化する (今日わかったこと、考えが変わったこと、次に調べたいこと)</p>
取組	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>①生徒の課題提案型による生徒会・学級活動の充実 →生徒総会や学級会で学校生活の中で感じた課題を生徒自身が提案し、解決策を話し合う活動を充実させる。 →生徒会が中心となり目安箱を設置して意見を集約・整理して全校に提案する。</p> <p>②役割をもった協働的な学校行事の企画・運営 →生徒が役割を担いながら協働して取り組む活動を推進する。 →体育大会や稲陵祭などで、生徒主体の企画・運営を行う</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
	<p>◇本校ではICTを用いた調べ学習は高い水準にあるが、意見発信には課題が見られる。今後は「調べる」に加え、「考える・伝える」を一体化した学習が重要である。共同編集やコメント機能を効果的に活用し、全員が意見を伝えやすい場面を授業の中に取り入れていきたい。また、思考の可視化や相互評価を取り入れ、対話的な学びを促進することで、「学ぶ力」の一層の充実を図る。</p>

<本プログラムの実行に向けて>

